

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和7年2月13日 10時40分～12時00分)

## 注 意 事 項

1. 試験問題の数は55問で解答時間は正味1時間20分である。
2. 解答方法は次のとおりである。
  - (1) (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。  
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

101 助産業務を行うことが可能となるのはどれか。

1. 国家試験受験日以降
2. 合格発表日以降
3. 合格証書受領日以降
4. 助産師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

<p>答案用紙①の場合、</p> <p>101    ①    ②    ③    ④</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>101    ①    ②    ③    ●</p>	<p>答案用紙②の場合、</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="text-align: center;">101</td> <td style="text-align: center;">101</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">②</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">③</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">④</td> <td style="text-align: center;">●</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">→</p>	101	101	①	①	②	②	③	③	④	●
101	101										
①	①										
②	②										
③	③										
④	●										

(例2)

102 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
102	①	②	③	④	⑤	102	102	①	①	
			↓			①		②	②	
102	①	②	●	④	⑤	②		③	→	●
						③		④		④
						④		⑤		⑤
						⑤				●

(例3)

103 助産師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、					答案用紙②の場合、					
103	①	②	③	④	⑤	103	103	①	●	
			↓			①		②	②	
103	●	②	③	④	●	②		③	→	③
						③		④		④
						④		⑤		●
						⑤				

(2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

104 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答：①②%

- |   |   |
|---|---|
| ① | ② |
| 0 | 0 |
| 1 | 1 |
| 2 | 2 |
| 3 | 3 |
| 4 | 4 |
| 5 | 5 |
| 6 | 6 |
| 7 | 7 |
| 8 | 8 |
| 9 | 9 |

正解は「90」であるから①は答案用紙の(9)を②は(0)をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(●)
104	(●)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

答案用紙②の場合、

104	
①	②
(0)	(●)
(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	(3)
(4)	(4)
(5)	(5)
(6)	(6)
(7)	(7)
(8)	(8)
(●)	(9)







1 産後の授乳について母乳栄養または人工栄養にするか迷っている初妊婦に対して、助産師は具体的な授乳のイメージができるように説明し「一緒に考えましょう」と伝えた。

このときの助産師の対応は、倫理原則のうちどれか。

1. 正義
2. 善行
3. 無危害
4. 自律尊重

2 妊婦の摂取量が過量な場合に、有機水銀による胎児の健康障害が最も懸念される魚介はどれか。

1. サバ
2. ブリ
3. カツオ
4. クロマグロ

3 Aさん(54歳、女性、専業主婦)は夫と2人暮らしである。趣味は読書で家事以外で家から出ることは少ない。

Aさんが運動不足によってリスクが高くなる健康問題はどれか。

1. 1型糖尿病
2. 子宮内膜症
3. 腹圧性尿失禁
4. メタボリックシンドローム

- 4 卵胞の発育で正しいのはどれか。
1. 排卵時の卵胞の直径は3～5 mm である。
  2. 初経のころの原始卵胞数は出生時より少ない。
  3. 排卵されなかった卵胞はグラーフ卵胞となる。
  4. プロゲステロンの作用によって排卵に至る卵胞が1つになる。
- 5 男性不妊のリスク因子はどれか。
1. 腎結石
  2. 低身長
  3. 両側鼠径ヘルニア修復術の既往
  4. 単純ヘルペスウイルスの感染の既往
- 6 妊娠初期にみられる生殖器の変化で正しいのはどれか。
1. 子宮頸部は茶褐色を示す。
  2. 子宮体部は非対称性に増大する。
  3. 卵巣は妊娠8週までに縮小する。
  4. 子宮内膜に子宮体部の全血流量の90%が分布するようになる。
- 7 胎児の免疫で正しいのはどれか。
1. 先天感染に対してIgMが産生される。
  2. T細胞が産生されるのは出生後である。
  3. 血中の主要な免疫グロブリンはIgAである。
  4. B細胞が血中に現れるのは在胎30週ころからである。

8 胎児が吸啜と嚥下の協調運動ができるようになる在胎週数はどれか。

1. 20 週～22 週
2. 24 週～26 週
3. 28 週～30 週
4. 32 週～34 週

9 乳児にみられる反射(別冊No. 1)を別に示す。

正期産で生まれた児が生後3、4か月になったところに、消失する反射はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

別 冊

No. 1

10 Aさん(39歳、初産婦)は、妊娠36週3日に前期破水で入院した。翌日の午前7時から陣痛が発来し、内診所見は、子宮口4cm開大、展退度60%、Station-1、子宮頸管の硬度は中、子宮口の位置は中央であった。午前11時からの胎児心拍数陣痛図(別冊No. 2)を別に示す。

このときのアセスメントで正しいのはどれか。

1. 過強陣痛である。
2. 臍帯圧迫が起きている。
3. 子宮内感染が起きている。
4. 胎児がアシドーシスである。



11 異所性妊娠の発生が最も多い部位はどれか。

1. 腹 膜
2. 卵 巢
3. 卵管間質部
4. 卵管膨大部

12 甲状腺機能亢進症合併妊娠で正しいのはどれか。

1. 抗甲状腺薬は胎児の甲状腺機能を亢進させる。
2. 甲状腺機能亢進症は産後に軽快することが多い。
3. 甲状腺機能亢進状態が続くと早産のおそれがある。
4. 妊婦全員に甲状腺機能検査を行うことが推奨されている。

13 サイトメガロウイルスの母子感染で正しいのはどれか。

1. 発生頻度は0.01%程度である。
2. 新生児尿の核酸検査で診断する。
3. 近年の妊婦の抗体保有率は上昇している。
4. 妊娠以前に感染の既往がある妊婦では発生しない。

14 Aさん(初妊婦)は、自宅で妊娠反応が陽性となり、産婦人科クリニックを受診した。Aさんは「最終月経から約10週経過していると思うが、記憶が曖昧」と話す。

胎児超音波検査の写真(別冊No. 3)を別に示す。

妊娠週数を確定するために計測する部位はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



15 会陰切開の縫合部痛を訴えている褥婦へのケアで正しいのはどれか。

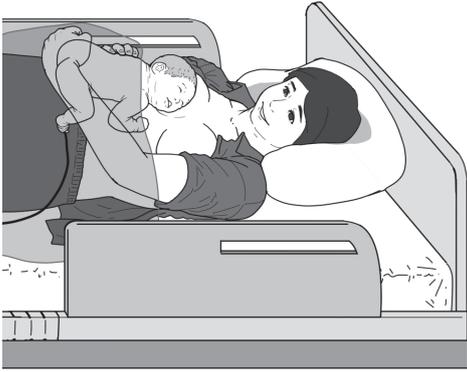
1. 仰臥位を勧める。
2. シャワー浴を禁止する。
3. 会陰部への冷罨法を勧める。
4. 産褥期の性交痛とは関連しないことを伝える。

16 正期産の正常新生児と分娩後の母親に対して早期母子接触を行う。母子ともに状態は安定している。

母子の体位を図に示す。

望ましいのはどれか。

1.



2.



3.



4.



17 身体発育や神経発達に異常のない乳幼児の月齢と睡眠パターンの組合せで適切なものはどれか。

1. 生後1か月 ————— 昼夜の区別なく睡眠と覚醒を繰り返す。
2. 生後4か月 ————— 1日の睡眠回数が8回になる。
3. 生後7か月 ————— 夜間2時間おきに目を覚ます。
4. 生後12か月 ————— 1日の睡眠時間が7時間になる。

18 Aちゃん(6か月、男児)は、救急外来に搬送された。母親は「Aちゃんが泣き止まないため、父親があやすつもりで強く揺さぶったところ、しばらくしたらぐったりした」と話している。Aちゃんは、CT検査の結果、硬膜下血腫が確認された。外見上の外傷は認められなかった。

このときAちゃんに生じている可能性が高いのはどれか。

1. 下血
2. 眼底出血
3. 鼓膜穿孔
4. 股関節の脱臼

19 地域周産期母子医療センターであるA病院は、B市の事業委託を受けて産科病棟内で短期入所(ショートステイ)型の産後ケア事業を実施することになった。

新規事業のPDCAサイクルで計画にあたるのはどれか。

1. 利用者の募集
2. 1日の利用人数の設定
3. 食事メニューの見直し
4. 利用者へのアンケート調査

20 妊婦健康診査の公費負担について正しいのはどれか。

1. 国が全額公費負担している。
2. 妊婦1人当たりの公費負担額は全国一律である。
3. 多胎と単胎の妊婦健康診査の公費負担額は同じである。
4. 全市区町村で妊婦1人当たり14回以上の公費負担をしている。

21 周産期医療の体制構築に係る指針において、総合周産期母子医療センターの母体・胎児集中治療室(MFICU)に求められる事項で正しいのはどれか。

1. 占有の手術室
2. 1床につき6.3m<sup>2</sup>の個室
3. 3床に1名の助産師又は看護師の配置
4. 経皮的酸素分圧(tcPO<sub>2</sub>)監視装置の設置

22 子を持つ親の支援に関する項目と根拠法令の組合せで正しいのはどれか。

1. ひとりで子どもを育てる母親の就業支援 ————— 男女共同参画社会基本法
2. ファミリーサポートセンターでの支援 ————— 次世代育成支援対策推進法
3. 未就学の子の看護休暇の取得 ————— 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉
4. 出産育児一時金の支給 ————— 労働基準法

23 Aさん(32歳、初産婦)は、女兒を正常分娩で出産した。母子ともに経過は順調で、混合栄養である。退院前日に大規模災害が発生した。Aさんの退院先は断水しているが、建物の崩壊はない。Aさんは退院を希望している。

退院時に説明する内容で適切なのはどれか。

1. 「母乳分泌の量に関わらず母乳は中止しましょう」
2. 「哺乳瓶の代わりに紙コップを使用することができます」
3. 「調乳には硬水のミネラルウォーターを使用してください」
4. 「退院先の断水が復旧するまで赤ちゃんは病院で預かります」

24 Aさん(40歳)は、不妊治療にて妊娠し、妊娠10週で流産した。不妊専門相談センターの電話相談で「初めての妊娠で、楽しみにしていたのに。どうしたらよいか分かりません」と話した。

不妊専門相談センターの助産師がAさんに最初に話す内容で適切なのはどれか。

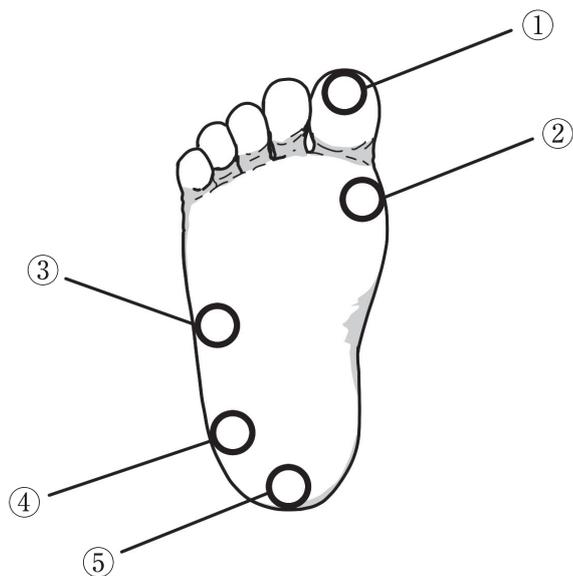
1. 「里親制度について説明しましょう」
2. 「ご家族はどのように言っているのですか」
3. 「染色体検査を受けることをお勧めします」
4. 「流産となり気持ちが混乱しているのですね」
5. 「習慣流産の治療で有名な病院を紹介しましょう」

25 正常分娩にて出生し、完全母乳栄養中の健康な乳児において、生後1か月の腸内細菌叢で最も優位になるのはどれか。

1. ビフィズス菌
2. ブドウ球菌
3. 乳酸桿菌
4. 連鎖球菌
5. 大腸菌

- 26 思春期を対象にした月経に関する説明で正しいのはどれか。
1. 「18歳までは初経がなくても正常です」
  2. 「運動選手の場合は、月経がなくても正常です」
  3. 「月経周期が33日でも規則的であれば問題ありません」
  4. 「月経痛があっても鎮痛薬は使わないようにしましょう」
  5. 「10歳代で起こる月経困難症は、何かの病気がある可能性が高いです」
- 27 分娩後の恥骨結合離開で安静臥床中の褥婦への対応で適切なのはどれか。
1. 座位保持ができるようになってから授乳を開始する。
  2. 恥骨の触診は手掌全体で恥骨に圧をかけて押す。
  3. 恥骨と大転子周囲を骨盤ベルトで固定する。
  4. 産後2、3日で治癒することを伝える。
  5. 骨盤底筋体操を勧める。

28 新生児の足底を図に示す。



新生児マススクリーニング検査の採血時の穿刺部位で正しいのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④
5. ⑤

29 4 か月児健康診査における視覚の標準的な発達を確認するための項目で正しいのはどれか。

1. 斜 視
2. 視 力
3. 追 視
4. 色の区別
5. 光への反応

30 Aさん(初産婦)は妊娠35週0日でBちゃん(女兒)を出産した。Bちゃんの出生時の身長は45.2 cm、体重は2,200 gであった。

Bちゃんが該当するのはどれか。

1. appropriate for gestational age
2. heavy for gestational age
3. large for gestational age
4. light for gestational age
5. small for gestational age

31 早産児の脳室内出血で正しいのはどれか。

1. 低体温療法の適応である。
2. 生後72時間以内に起こりやすい。
3. 約80%が分娩時外傷によって起こる。
4. 在胎34週以降の出生児に起こりやすい。
5. 急性期の診断には頭部MRI検査が有用である。

32 日本の令和3年(2021年)の人口動態統計における妊産婦死亡の死因別死亡数のうち、直接産科的死亡で最も多いのはどれか。

1. 妊娠、分娩及び産じょくにおける浮腫、タンパク(蛋白)尿及び高血圧性障害
2. 前置胎盤及び(常位)胎盤早期剝離
3. 産科的塞栓症
4. 子宮外妊娠
5. 分娩後出血

33 銅付加型子宮内避妊器具〈Cu-IUD〉について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 最長1年使用できる。
2. 高い避妊効果がある。
3. 未産婦に適している。
4. 乳汁分泌量に影響を及ぼす。
5. 緊急避妊法として使用される。

34 妊娠の成立に関して正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 排卵後の卵胞は黄体形成ホルモン〈LH〉を産生する。
2. 受精は排卵の12～24時間後に行われる。
3. 受精とは精子と卵子が結合し細胞質と核が融合することである。
4. 受精卵は桑実胚期に着床する。
5. 子宮内膜の増殖期に受精卵が着床する。

35 正常分娩進行中の子宮の変化で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 子宮峡部は伸展して薄くなる。
2. 子宮頸部は下方から開大する。
3. 子宮峡部が収縮し子宮体部が伸展する。
4. 子宮洞筋部の収縮は娩出の原動力となる。
5. 組織学的子宮口の位置に生理的収縮輪が形成される。

- 36 Whooley の包括的 2 項目質問票の説明で正しいのはどれか。2 つ選べ。
1. 使用は医師に限られている。
  2. 妊娠期の使用が推奨されている。
  3. 全般性不安障害〈全般不安症〉の発症を評価する。
  4. 直近 7 日間に該当する症状がよくあったかを尋ねる。
  5. 質問への回答のいずれかが「はい」であれば抑うつ状態の可能性がある。

- 37 A さん(22 歳、初妊婦)は、妊娠前に外陰部の腫瘤を自覚していたが、自然に消失したという。産婦人科の初診時に梅毒血清反応と梅毒トレポネーマ抗体血清検査を行ったところ、いずれも陽性であった。

A さんへの治療で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. ペニシリン系抗菌薬を投与する。
  2. 妊娠 12 週以降に治療を開始する。
  3. 治療効果の判定は梅毒血清反応で行う。
  4. 陰圧室に隔離して治療を行う必要がある。
  5. 外陰部に副腎皮質ステロイド軟膏を塗布する。
- 38 出生後 1 時間の新生児の呼吸の異常所見はどれか。2 つ選べ。
1. 呼吸数が 50/分である。
  2. 周期性呼吸がみられる。
  3. 呼気時に呻吟がみられる。
  4. 胸骨上窩の陥没呼吸がみられる。
  5. 吸気時に前胸部と腹部が同時に上昇する。

39 在胎 30 週で出生した極低出生体重児。先天性疾患や合併症はなく、日齢 65 に退院することとなった。自宅では保育所に通っている 2 歳の兄が両親とともに生活しており、兄の通う保育所ではインフルエンザと RS ウイルス感染症が流行している。退院時に兄に行う感染予防対策で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 予防的抗菌薬の投与
2. 肺炎球菌ワクチンの接種
3. 副腎皮質ステロイド薬の吸入
4. インフルエンザワクチンの接種
5. 抗 RS ウイルスヒト化モノクローナル抗体の投与

40 A さんは、妊婦健康診査で HBs 抗原陽性、HBe 抗原陽性を指摘された。母子感染予防策で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 予定帝王切開で分娩を行う。
2. 出産直前の母体に  $\gamma$ -グロブリンを投与する。
3. 出生直後の児に B 型肝炎ワクチン接種を行う。
4. 生後 2 か月で抗 HBs ヒト免疫グロブリンを児に投与する。
5. 出生 12 時間以内に抗 HBs ヒト免疫グロブリンを児に投与する。

次の文を読み 41～43 の問いに答えよ。

A さん(30 歳、1 回経産婦)は、妊娠 37 週の妊婦健康診査で B 群溶血性連鎖球菌〈GBS〉陽性であったが、それ以外の妊娠経過に異常はなかった。妊娠 40 週 5 日の午後 10 時に A さんは電話で「午後 4 時くらいから不規則に子宮収縮がありました。午後 7 時から規則的に 15 分間隔になり、今も変わりません。生理痛のような痛みがあります。昨日の妊婦健康診査で、子宮の出口は 2 cm 開いていると言われました。昨日から褐色のおりものがありますが、破水はしていません。いきみたい感じはありません」と落ち着いて話した。

41 A さんは「病院までは 30 分くらいで行けます。上の子は近所に住む実母に預けることができます。どうしたらよいでしょうか」と話した。

電話での A さんへの説明で適切なのはどれか。

1. すぐに来院してもらう。
2. 破水後にもう一度電話してもらう。
3. 明日の午前中に外来を受診してもらう。
4. 陣痛が 10 分間隔になったら来院してもらう。
5. いきみたい感じがでてきたら来院してもらう。

42 その後 A さんは入院し、陣痛発来 5 時間後に陣痛間欠 5 分、陣痛発作 40 秒となった。内診所見は、子宮口 7 cm 開大、展退度 80 %、Station ±0、子宮頸管の硬度は軟、子宮口の位置は前方であった。矢状縫合は斜径、小泉門は 5 時方向、卵膜は触れず、薄いピンク色の羊水の流出を確認した。胎児心拍数陣痛図の波形はレベル 2。腰部痛があるため左側臥位で過ごしており、肛門が押される感じがすると訴えている。

このときの対応で適切なのはどれか。2 つ選べ。

1. 入浴するよう促す。
2. 四つん這いの姿勢になるよう促す。
3. エネルギー源となる食事の摂取を勧める。
4. Valsalva〈バルサルバ〉法を実施してもらう。
5. 分娩監視装置による連続モニタリングから、間欠的胎児心拍数聴取にする。

43 A さんは、分娩開始後 9 時間で正常分娩した。分娩後、左正中側切開への縫合術が行われた。分娩時出血量は 440 mL で、子宮収縮は良好であった。分娩 5 時間後、A さんは尿意を感じ、トイレまで歩行したが尿は出なかった。体温 36.8℃、脈拍 78/分、血圧 138/74 mmHg。子宮底の高さは臍高で硬く触れ、流血はない。口渇なし。意識は清明である。会陰切開縫合部の腫脹と発赤はない。触診で膀胱充満がみられた。膀胱部の不快感はない。

A さんの尿が出ない原因で考えられるのはどれか。

1. 脱水
2. 尿路感染症
3. 子宮復古不全
4. 骨盤底筋群の弛緩
5. 膀胱壁の平滑筋の麻痺

次の文を読み 44～46 の問いに答えよ。

A さん(34 歳、初産婦)は、妊娠 40 週 4 日。妊娠中の経過は、母児ともに順調で推定胎児体重は 2,980 g である。本日、午前 1 時から、10 分おきに子宮収縮が出現したため、午前 3 時に来院した。入院から 12 時間後、内診所見は子宮口 9 cm 開大、展退度 100 %、Station +2 であった。胎児は第 1 胎向、第 1 分類、胎児心拍数陣痛図の波形はレベル 1 である。分娩室に入室して側臥位で過ごしているが、呼吸が乱れ全身に力が入っている。

44 このときの助産師の対応で適切なのはどれか。

1. 酸素投与を行う。
2. 仰臥位を勧める。
3. 深呼吸を促す。
4. 排泄を促す。

45 1 時間後、A さんは左側臥位で分娩をすることとなった。第 4 回旋で児の顔が向くと考えられる方向はどれか。

1. A さんの肛門側
2. A さんの恥骨側
3. A さんの左足側
4. A さんの右足側

46 児の出生から15分後に胎盤娩出した。Aさんは興奮気味で気分が高揚している様子である。分娩時出血量は320 mLであった。1時間値は体温37.3℃、呼吸数30/分、脈拍84/分、血圧108/68 mmHg、出血量40 mL、子宮底の高さは臍高。硬度はやや良好で、子宮底マッサージで良好となった。

このときの観察結果で正常から逸脱しているのはどれか。

1. 体 温
2. 呼吸数
3. 脈 拍
4. 血 圧
5. 出血量

次の文を読み 47～49 の問いに答えよ。

A さん(36 歳、初産婦)は、胎児超音波検査は異常なく、妊娠経過は順調であり無痛分娩を希望している。妊娠 40 週 5 日、陣痛発来し入院した。医師がカテーテルを硬膜外腔に挿入し、テストドーズをカテーテルに注入し、母児ともに問題ないことを確認した。その後、硬膜外麻酔を開始し、A さんの痛みは和らぎ、息苦しさはなかった。コールドテストにて麻酔が効いている範囲を評価した。

47 図(別冊No. 4)を別に示す。このときコールドテストで冷感を感じない部位を橙色で示す。

適切な範囲はどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④



48 2 時間後、A さんの内診所見は既破水、子宮口 3 cm 開大、展退度 50 %、Station ±0 であった。胎児心拍数陣痛図で、胎児心拍数は 60 bpm で 2 分間持続した。

このときの助産師の対応で正しいのはどれか。2 つ選べ。

1. 体位を変える。
2. 抗菌薬の準備をする。
3. 医師に診察を依頼する。
4. オキシトシンの点滴を準備する。
5. 医師に硬膜外麻酔薬の投薬追加を提案する。

49 その後、Aさんは緊急帝王切開で女児を分娩した(羊水混濁なし)。児は、3,108 g、Apgar〈アプガー〉スコア1分後8点、5分後9点であった。出生後5時間の時点で、児は、呼吸数120/分、心拍数160/分、経皮的動脈血酸素飽和度〈SpO<sub>2</sub>〉92%(room air)、直腸温38.0℃で、医師は新生児搬送することに決めた。

新生児搬送までの児への対応で正しいのはどれか。

1. 酸素を投与する。
2. 直接母乳を与える。
3. 冷罨法で体温を下げる。
4. 肺サーファクタント補充療法の準備をする。

次の文を読み 50～52 の問いに答えよ。

令和4年(2022年)3月1日、Aさん(27歳、初産婦)は妊娠28週0日、自宅で胎動の減少、性器出血、持続的な腹部の痛みを認めた。かかりつけの地域周産期母子医療センターを受診し、直ちに常位胎盤早期剝離と診断され、緊急帝王切開術にてBちゃんを出産した。Bちゃんの出生時の体重は1,300g、Apgar〈アプガー〉スコアは1分後2点、5分後3点、10分後4点であり、蘇生処置が行われた。その後、重症新生児仮死の診断でNICUに入院し、人工呼吸器が装着され、閉鎖式保育器に収容された。

50 保育器の管理方法で適切なのはどれか。

1. 加湿槽へ生理食塩水を給水する。
2. 保育器の吹出口をシートで覆う。
3. 保育器内温度を 35℃に設定する。
4. 保育器内湿度を 30%に設定する。

51 Bちゃん(日齢120)はGCU入院中で全身状態は安定しているが、経口哺乳が進まず、経管栄養を続けている。頭部MRI検査で脳室周囲白質軟化症と診断された。医師から両親へ、経管栄養が当面必要であること、運動発達の遅れや麻痺が出現する可能性があること、2週間後を目安に退院できることが伝えられた。Aさんから助産師に「退院前に産科医療補償制度の申請をしたいと思ったが、できないと言われた。その理由を知りたい」と相談があった。

Aさんへの理由の説明で正しいのはどれか。

1. 自宅で常位胎盤早期剝離を発症した。
2. 在胎週数28週0日で生まれた。
3. 出生体重が1,300gであった。
4. 現在、日齢120である。
5. 現在、入院中である。

52 Bちゃんが入院中の病棟の病床数は、NICU 6床、GCU 12床、合計18床である。3交代制で、深夜勤帯はNICU 2名、GCU 2名の合計4名の看護師または助産師と新生児科医師1名が勤務している。近年、自然災害が多発しているため、深夜勤帯に災害が発生したことを想定した避難訓練を実施した。訓練では、NICUで緊急避難が必要な場合の避難優先順位について確認した。

優先順位が高いのはどれか。

1. 酸素投与中の児
2. 人工呼吸器管理中の児
3. 動脈ライン挿入中の児
4. コットで経口哺乳を行っている児

次の文を読み 53、54 の問いに答えよ。

A さん(30 歳、経産婦)は、2 年前に離婚し長女(3 歳)と 2 人暮らしだったが、パートナー(36 歳、会社員)と同居後まもなくして妊娠が判明し、婚姻届を提出している。妊娠経過は順調で、妊娠 37 週に 3,000 g の男児を出産、産後 5 日に 2,900 g の児とともに退院した。保健センターから委託を受けた助産師は、産後 25 日に新生児訪問で A さんの自宅を訪問した。児は母乳栄養で退院時から体重が 420 g 増加、活気があり、頭皮、両眉および両頬に丘状の黄色湿疹があり、べたついている。A さんは「沐浴は夫が毎日、ガーゼのハンカチを使って石鹸でしっかり洗っています。沐浴後は母乳を飲ませています」と話す。児の排尿は 8～10 回/日、排便は 2～3 回/日程度である。

53 助産師の A さんへの助言で適切なのはどれか。

1. 人工乳を追加する。
2. 湿疹の部位は手で洗う。
3. 肛門刺激を 1 日 1 回行う。
4. 沐浴後は白湯を飲ませる。

54 Aさんは「夫は妊娠中は上の子とよく遊んでくれましたが、退院してからは生まれた子を特に可愛がります。上の子が夫に抱っこをせがんだら応じますが、自分から上の子を抱っこすることはありません。上の子をもっと抱っこしてあげてほしいと夫には伝えています」と話す。夫によるAさんや第1子への暴力的な言動はない。Aさんは1年間の育児休業を取得予定である。

このときの助産師のAさんへの対応で適切なのはどれか。

1. 要保護児童対策地域協議会とAさんの情報を共有することを伝える。
2. Aさんと夫それぞれの家族への思いについて情報収集を継続する。
3. 第1子の一時預かり事業の利用を勧める。
4. 児童相談所への相談を勧める。

次の文を読み 55 の問いに答えよ。

A さん(39 歳、初妊婦)は 2 年前から不妊治療を受け、2 回目の体外受精後に妊娠した。既往歴および家族歴ともに特記すべきことはない。A さんは妊娠 10 週の妊婦健康診査で産科外来を訪れ、妊娠経過は順調であった。外来助産師に「不妊治療で妊娠した場合は、出生前検査を受けた方がよいのでしょうか。妊娠した友人は非侵襲的出生前遺伝学的検査(NIPT)を受けた人が多いです」と話す。

55 このときの A さんへの対応で適切なのはどれか。

1. 「ご友人の出生前検査の経験を詳しく教えてください」
2. 「A さんの年齢から出生前検査を受けることをお勧めします」
3. 「不妊治療で妊娠した女性の出生前検査の受検割合をお伝えしますね」
4. 「A さんが出生前検査を受けるかどうか考える理由をお話いただけますか」







